



小諸高校と小諸商業高校が一体になり、新校として生まれ変わる小諸新校プロジェクトの第三回ワークショップとして、「小諸新校「で／と」してみたいことありますか？」をグループワーク形式で開催しました。第一回目ワークショップはシンポジウム形式で「新しい学びの場について、設計者といっしょに考えてみませんか？」というテーマで実施。第二回目は「新しい学びの場について「模型から」考えてみませんか？」というテーマで学校関係者を中心に、具体的に模型や平面図を見ながらグループごとに議論をしました。



今回のワークショップは、地域連携をテーマに、主に地域のみなさんと実施しました。約10名の参加者と少人数制でしたが、そのために4つのグループに分かれ、深くお話を進めることができました。小諸新校の設計を担当する、西澤徹夫建築事務所 (N)、奥山尚史建築設計事務所 (O)、小坂森中建築 (K) と、リサーチチームとしてワークショップなどご意見をいただく担当の榎原充大 (株式会社都市機能計画室、S) の4社 (通称「NOKS」) から、それぞれのグループの議論を進行するファシリテーターがそれぞれのグループで1~2名ずつ入りました。

グループワークでは2つの話題をとりあげました。1つ目は「小諸新校「で」したいことはありますか？」、2つ目は「小諸新校生「と」一緒にしたいことはありますか？」。前者では「地域の人が授業を考える」「市民の交流の場」といった意見、後者では「街の人と応援しあえる関係」をつくりたいといったアイデアをはじめ、たくさんの意見が生まれました。



さまざまな条件が入り混じり、「理想的にはそうだが現実的には難しい」など、そもそも想像力に蓋をしてしまいかねないなか、生徒のための思いどんな地域連携があり得るのか、またあるべきなのかを真剣に議論する地域の方々姿が印象的なワークショップでした。



● 次回 / ワークショップ 4

「その後、計画はどうなった？ (仮)」

対象：ワーキンググループ

2023年4月下旬頃予定

● お問い合わせ

【主催】長野県教育委員会

【企画運営】西澤奥山小坂森中共同企業体 + 株式会社都市機能計画室 (通称：NOKS)

【問い合わせ】e-mail : komoro.workshop@gmail.com